

第15回
劇団青い鳥
A·SO·BO塾
公演

銀杏の樹の下で

作・演出

芹川 藍

劇団青い鳥 主宰
A·SO·BO 塾塾長

2019

5/25(土) - 5/26(日)

開演 14:00

開演 11:30 / 15:00

*開場は開演の30分前

川崎市アートセンター
アルテリオ小劇場

入場料 2,000円 (全席自由)



銀杏の樹の下で

あと2年たつて日本は2回目の東京オリンピックを迎える。

初めての東京オリンピック開催が決定した頃、夏になるとヨチヨチ歩きの私は、よく親戚の叔父さん家に預けられた。

一ヶ月間の田舎暮らし。家畜の餌の草刈り、庭掃除、田植えの草取り……。「うん、行く」と言つたものの、本当は帰りたかった。

庭にあつた大きな大きなイチョウの樹。

毎日登つて、家は・・・かあさんは・・・どっちの方向か・・・。眺めていた。

探していた。

その時から「銀杏の樹」は私の友達になつた。

そして2回目の東京オリンピック。

その間に世の中は、世界は、地球はずいぶんと変わつた。

一人一台電話を持ち、街中で話すとは・・・。

テレビや映画がどこにいても、掌サイズで見られるとは・・・。

その掌サイズのモノで電車に乗り、買い物をし、

自分の健康まで管理できることは・・・。

ただ、銀杏の樹は変わらずそこに在り続けている。

たくさんのがい出を吸い込んで。

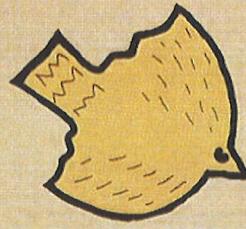
しづらな変化をのみこんで。

涙も笑いも哀しみもよろこびも見守り続けて。

ただただそつと、そこに。

そんな銀杏の樹をめぐる物語です。

芹川
藍



●芹川 藍 プロフィール



劇団青い鳥主宰・演出家・劇作家・役者・アクティングセラピスト。

1974年に劇団青い鳥設立。全作品100出演、演出。1992年より演劇の手法を取り入れた独自のアクティングセラピー、「芹川メソッド」による「自己発見表現講座」「演劇ワークショップ」また、全国各地で講演会を開催。大学・高校での特別講師も多数つとめる。鹿児島演劇協会プロデュース「第30回国民文化祭かしま2015」にて作・演出を手掛けた。

1986年紀伊國屋演劇賞受賞

1992年東京ジャーナル演劇部門受賞



A・SO・BO塾とは?

今年で創立45年を迎える劇団青い鳥の主宰者、芹川藍を塾長として2006年に開講。演劇の他、アクティング・セラピー、ストレッチ講座などを開催。演劇経験ゼロの方々を対象とした講座は、受講生一人ひとりの持ち味を最大限に引き出す「芹川メソッド」により進められる。表現をする楽しさ、新鮮さ、難しさを経験しながら公演へと向かう。

A・SO・BO塾 第11期生募集

「役者やってみませんか」
あなたも舞台に!

日時：2019年7月～2020年10月（予定）

（全30回 土日の午後）

会場：花伝舎（西新宿）他

定員：30名（書類選考有）

対象：女性

受講料：125,000円

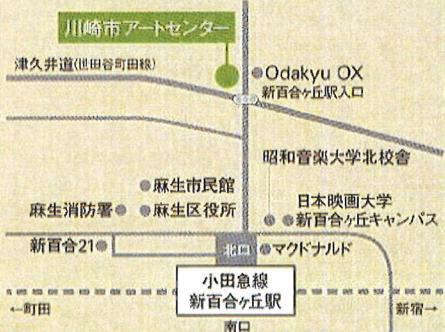
2020年11月公演予定。追加稽古有。

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

（川崎市麻生区万福寺 6-7-1）

●TEL 044-955-0107

●小田急線「新百合ヶ丘」北口徒歩 3 分



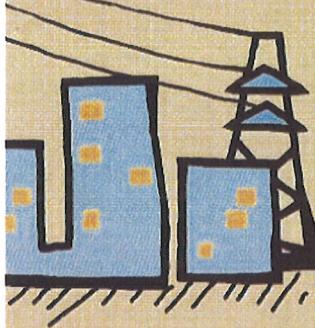
ご予約・お問合せ：青い鳥創業

TEL：03-5738-7181

Email：aoitori@aoitori.org

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 5-6 田村ビル 405



出 演

青柳 和以

飯島 博子

井上 満利子

岩下 明美

大澤 美奈子

岡本 美奈子

桐山 あけみ

源野 みゆき

洪 利枝

小路 多恵子

小島 貴子

坂本 澄子

佐藤 恵子

柴田 澄子

柴原 あづみ

下醉尾 秀子

鈴木 千波

田中 明子

辻 美樹

寺西 正子

藤堂 朝子

永見 花江

原 真理

福井 晶子

松浦 有紀

山崎 和子

山田 由香理

吉野 友理枝

渡邊 みゆき

作・演出：芹川 藍

振付：田倉 薫

照明：沖野 隆一

照明操作：RYU CONNECTION

音響プラン：芹川 藍

音響操作：尾林 真理

衣裳：葛西 佐紀

演出補佐：天光 真弓

演出助手：渡辺 なほみ

イラストデザイン：イズミコ

記録写真：前川 健彦

映像記録：高彩 裕子

制作：長井 八美 皆野 衆

A・SO・BO塾サポーター：近内 仁子

企画：劇団青い鳥 A・SO・BO塾

主催：(株)青い鳥創業